

石川モンゴル 親善協会だより

第18号

令和3年度活動報告



目次

| | |
|-------------|---|
| 会長挨拶 | 2 |
| かなざわ国際交流まつり | 4 |
| 着物体験 | 5 |
| モンゴル留学生より | 6 |
| 編集後記 | 8 |

日本とモンゴル国 国交樹立50周年 両国の外交関係を更なる高みへ

会長 福田繁機

ロシア軍のウクライナへの軍事侵攻により、子供を含め多くの一般市民が犠牲になっている報道に心が痛みます。戦争のない世界は人類共通の願いです。人類が平和を求め長い歴史を経てきたにもかかわらず、未だにこのような悲惨な事態が起こることが歯痒く感じます。ウクライナに1日も早い平穏が訪れるよう、世界の国々が平和的な解決に向け知恵を出し合って欲しいと願っています。(2022.4.18)

さて、日本とモンゴル国との間に、1972年2月に外交関係を樹立して今年で50年になります。両国は、この50周年の節目である今年を、新型コロナを乗り越え国民交流回復の年とするとともに、次の50年に向けての礎・絆をつくる年とすること、としています。すなわち、日本とモンゴル国の外交関係を更なる高みを目指して紡いでいこうというものです。

私どもの石川モンゴル親善協会は、モンゴルに関心があってモンゴルが大好きな人たちによって、2008年2月に設立されました。

1. 日本とモンゴル国との経済、及び文化交流の促進。
2. 日本、モンゴル両国の事情の紹介と研究。
3. 石川県在住のモンゴル人との交流、支援。

を掲げ多くの事業を実施してきました。

モンゴルスタディーツアー、モンゴル語教室、国際交流まつり参加、モンゴル・日本料理教室、モンゴル研究会、忘年会、バーベキュー大会、きもの着付け教室、水族館見学、等……これらの活動を積み重ね、微力ながらモンゴル国との国際交流と国際親善に貢献してきたのではないかと思います。

近年、残念ながら瞬く間に全世界に拡散したコロナ禍を受けて、感染拡大防止を図るため移動制約や自粛措置が取られ、ほとんどの事業がやむを得ず中止に追い込まれました。そんな中Zoomによるオンライン・リモート会議の有用性を見つけることができましたが、…。現在、本県に出されていた蔓延防止の重点措置も解除されたこともあり、本協会の総会が三年ぶりに一堂に会して開催できそうです。



コロナ禍が確実に収束していくとの気配も感じられず、まだまだ前途に不安が残りますが、国と同調し、一歩でもモンゴルとの国際交流・国際親善の発展に努めていきたいと思ひます。皆様方には一層のご支援とご協力をいただき、そして石川県に在住の多くのモンゴルの方々にも参加いただき楽しく活動していきたいと思ひます。

モンゴルに関心をお持ちの方は、個人・企業を問わず、是非協会に参加いただき、一緒に活動していただければと念願しております。よろしくお願ひいたします。

石川モンゴル親善協会

会長 福田繁機

かなざわ 国際交流まつり

モンゴル料理カフェ 「Ann Chai」(アン・チャイ)の お弁当が大好評!!

文／渡辺由美子



かなざわ国際まつりはコロナウィルスの禍の中、10月9日(土)10日(日)、市庁舎前広場にて開催されました。ワールドバザールでは、毎年人気の岩塩、フェルトのスリッパ、あたたかいタイツやくつ下、モンゴルのお香等の物品を販売しました。

ワールドグルメコーナーでは、コロナウィルス感染予防のためテイクアウト販売となり、モンゴル料理カフェの「Ann Chai」(アン・チャイ)で調理した、「オルムクセット」、「マフテーホル(羊丼)」、「ふわみにポウス」の3種類のお弁当がすべて完売となりました。

夕方のTVニュースでモンゴルブースが放映され、翌日テレビを見て買いに来た方もおられました。モンゴル人留学生4人が大活躍してくれ、富山からもモンゴル人が訪れてきて、交流の輪が広がりました。



バータルさんご一家の 着物体験

文／刈本良子



今年度も高橋喜恵子さんのご厚意により、11月21日の日曜日に着物体験を高橋さん宅で実施。今回は帰国予定のバータルさんご家族が体験されました。当日は顔映りの良い色合いの着物をご本人や周りの方方で選び決めました。中島淑子さん、今井喜久子さんが手際よく着付けをされ、当日は福田会長をはじめ、藤木理事長、渡辺理事ご夫妻、アンギルマ事務局長、前本さんなど、たくさんの方々がお集まりくださり、賑やかなうちに進められました。

バータルさんご家族は、みな着物がとてもお似合いで、エンバ君、マラちゃんもかっこよかったよ。アンさんは「ハンサム、美人、キュートな一家の豪華な着付けだね!」と言われ、当日はインデラちゃんの子守をしておられました。今回も足袋が小さくてバータルさんごめんなさいね。今、観光客は着物にスニーカーを履いている方をよく見かけます。次回は足袋をやめて靴下にしまーす。





バーサンスレンさん

皆さん、こんにちは。バーサンスレンと申します。今年は金沢大学自然科学研究科博士後期課程を卒業しました。金沢に来てもう6年になりますが、来日したのが昨日のように思います。この6年間たくさんのことを経験し、思い出もたくさん作って、大きく成長したと思います。皆さんと一緒に色々なイベントに参加したり、国際祭り、料理教室、旅行、海やバーベキュー行ったり楽しかったです。

いつも支援して頂いている石川モンゴル協会の皆さんに心から感謝を申し上げます。また1年間金沢大学の元の研究室で研究を続けるので、これからもどうぞよろしくお願い致します。



トウムル ガンチメグさん

この前、初めて日本の伝統的な服である着物を着る機会があって家族みんなで着てみました。着物を着るには色んな手順があってそして初めての経験だったのでスタッフさんの助けで無事に着替えることができました。

着物を着た家族みんなの姿がもっと綺麗になったように見えて、やがて映画から出てきたようで、おしゃれで、家族みんなが嬉しくて笑顔で幸福いっぱいの日でした。こんな素敵な思い出を作ってくれた石川モンゴル協会の全ての日本人の方々に心から感謝しております。



ウヤンガー ウダンジャリガガルさん

みなさん こんにちは。私の名前はウヤンガーウダンジャリガガルです。今度金沢に住んで5年になります。金沢大学大学院自然科学研究科で修士・博士課程を学びました。金沢に来た時から今まで、石川モンゴル親善協会のサポートのおかげで非常に充実した5年間を過ごしました。皆さんのおかげで色々必要なものや家具をたくさん受け取りました、本当に感謝しています。

そして、石川モンゴル協会主催の充実した活動に参加することができ、とても楽しかったです。また、モンゴルに来てください。たのしみにします。翌日まで健康を維持してください



ウルジーオルシホさん

私の名前はウルジーオルシホと申します。アリス学園国際ビジネス学科の1年生です。日本語を小学校から習いました。日本語が好きになったのは、中学校の時です。そのころは、日本人の先生と学校が終わってからよく野球をしていました。日本語で会話をできない私は、何を言ってるか分からない時もありましたが、いつのまにか大阪弁で話せるようになっていました。

その先生は大阪人だったから、毎日話を聞いている私の発音は大阪弁になっていました。先生は日本のことをたくさん話してくれました。今は社会に迷惑をかけないように気をつけて生活することに頑張っております。日本語能力試験N3に4回も落ちた私は勇気をなくしていました。将来の夢と目標を日本につなげた私は勇気をもって日本語能力試験N3に合格しました。今ではN2を持っています。

アリス学園国際ビジネス学科では日本語や日本の文化を学び、モンゴルと日本の関係の未来を代表することができるモンゴル市民の代表となれることを誇りに思っています。



バダムツェツェグさん

こんにちは。初めまして、私の名前はバダムツェツェグです。モンゴルから来ました。19さいです。アリス学園の日本語の学生です。よろしくお願ひします。

日本語の大学を卒業した後、精神科医になることが私の夢なので、心理学を勉強したいと思っています。好きなことは暇なとき絵を描くこととアニメを見ることです。アリス学園の先生と同級生が私に暖かく迎えてくれたので、嬉しかったです。世界にたくさんの冒険と経験がありますからみなさんと生活を楽しまたいです。新しい経験と知識がほしいです。

編 集 後 記

ニュースレター18号をお読みいただきありがとうございます。

昨年度のモンゴル親善協会の活動は、やはり新型コロナウイルス感染症の影響で多くが制限されました。そんな中でも、かなざわ国際交流まつり、着物体験など、経済活動の再開に伴いいくつかの行事を行うことができました。準備をはじめ活動に参加して下さった会員の皆様、当日足を運んで下さった方々、ありがとうございました。

かなざわ国際交流まつりでは、Ann Chai(アンチャイ)のモンゴル料理が、全て完売の大好評でした。Ann Chaiは石川モンゴル親善協会会員の中谷アンギルマさんが経営するモンゴルカフェ。美味しいモンゴルの家庭料理が自慢のお店です。是非一度いらしてください。

さて、新型コロナによるパンデミックも3年目に入り、幾度もの感染拡大の波を超えて、世界はいよいよウイルスとの共存・共生を考える、「ウィズコロナ」の時代に向かっています。しかしそのような中、ロシアによるウクライナ侵略という許されない暴挙。女性や子供に関係なく沢山の人が無差別に殺されていく現実に、世界中の人々が怒りと悲しみを感じています。自由で平和な日本にいると、つい遠い世界の話にしてしまいがちですが、ひとりの人間として、世界が平和になるために何ができるかを考えていきたいと思います。

今回もお忙しい中、ニュースレターにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

文 / 合田 純也

